

平成 22 年度事業報告書

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 自立応援団

就労支援センターくまもと就労継続支援 A 型事業所

今年度は熊本大学附属特別支援学校より新卒の方が入り 15 名からスタートしました。最終的に 19 名の方が利用されました。平成 23 年度は 4 月 1 日より 1 名就職による退所と黒石原養護学校から 1 名の新卒者を迎える予定です。杉養蜂園様、清正製菓様、岩田コーポレーション様、野元食品様より、箱折やシール貼り作業の業務を頂き仕事を行ってきました。

新しくソニー生命様から封筒封入作業や、NPO 法人在宅支援事業団様からリビング新聞配達作業、トラックターミナル清掃事業を受託しました。



農作業班は今年度より本格的に作業が始まりました。近所の農家のところでの農作業をしたり、植木町で畑の作業を行っています。平成 23 年 1 月より、新しく畑を借りることができましたので、次年度は更に収穫アップを目指し、収入増に繋げていきたいと計画しています。また、販売会にも参加しました。

販売会

6 月 8 日～9 日 ゆめタウンはません ハート&アイランドよかもん つくったもん市場
6 月 18 日～20 日 ゆめタウン光の森 障害者施設販売会
7 月 24 日 (土) 交通センター ハートフル夏祭り



就労支援センターくまもとの自主製品作成が今の大きな課題です。企業からの委託事業が 90%以上を締めているため、安定的な事業展開が難しい状態です。日田市で活動を行っている作業所を見学し勉強をしてきました。そして熊本県基盤整備事業で廃食油再生機を購入することができました。地域エコ活動の一環として、廃食油再生を行い軽油販売による収益を上げ工賃アップにつなげて行きたいと思えます。

そのほか、

平成 22 年度熊本県基盤整備事業で、資材置き場用物置・箱折、シール貼り用機 6 台・軽トラックを購入しました。

実習生受入及び見学受入

4 月 12 日 菊陽苑見学 2 名
4 月 12 日～13 日 菊陽苑 実習受入 2 名
6 月 7 日～11 日 黒石原養護学校 実習受入 1 名
6 月 28 日～7 月 2 日 熊本県立熊本高等技術訓練校 実習受入 1 名
7 月 7 日 玉名きぼうの家 施設長見学
8 月 23 日 第 2 城南学園 16 名見学
9 月 8 日 熊本 YMCA 学院 就業準備訓練科 実習受入 4 名

9月13日～9月26日 熊本県立熊本高等技術訓練校 実習受入 1名
10月6日～10月12日 熊本大学附属特別支援学校 実習受入 1名
11月2日 松橋養護学校 実習受入 1名
11月8日～12日 黒石原養護学校 実習受入1名

花見会

会場：フードパル熊本内 参加者：25名

4月7日 就労支援センターくまもとのメンバー及びボランティアの方と花見を行いました

大久保さんの手品を見ながら、お金が消えたり、増えたり…。トランプのカードが前後ろ変わったりする度に感動の拍手が…。美味しいお弁当を口いっぱい頬張りながらみんなと楽しい時間を過ごしました。



つばさ会仲間交流会参加

5月22日（土） 南阿蘇アスペクタ

同時開催のそよかぜピクニックのステージ企画（歌や踊り）や、南阿蘇の大自然を満喫しました。10事業所（そよかぜ・高森寮・やまびこ・みふねデコボコ・やすらぎ・カムワークたんぼぼ・ゴースロー・ふれあい・すずらん・就労支援センターくまもと）117名の参加でした。

浦川さん（就労支援センターくまもと）が素敵な歌声を披露しました！



つばさ会ボーリング大会

7月8日（木）、南熊本ワンダーボウルで恒例のボーリング大会が行われました。仲間147名、スタッフ41名、合計188名、16事業所の参加があり、就労支援センターくまもとは7名が参加しました。

つばさ会まつり

期日：9月26日（日）10：00から

会場：ゆめタウンサンピアン 第4駐車場

実行委員会から2名参加し、つばさ会まつりに参加しました。多くの方と一緒に事業を行うことで、実行委員として頑張った植西さん、三次さんも大変自信に繋がっています。今後の活躍を期待しています。

みかん狩り

期日：10月26日（火） 参加者：20名 10：00集合 10：30出発

会場：水元オレンジガーデン

就労支援センターくまもとと全員でみかん狩りに行ってきました。有明海が丘の上から眺めることができます。5月のみかんの花が咲く頃は、町中が香水の匂いだそうです。そのくらいみかんの花の香りは良いそうです。

去年は、みかんが不作という事で、実に2年ぶりの水元オレンジガーデンでのみかん狩りとなりました。車3台で移動しました。みかん狩りを楽しんだ後は、バーベキューやカラオケタイムを楽しみました。



初詣

1月4日 初詣を行いました。今年は2名の方が成人式を迎えられました。おめでとうございます。

地域ボランティア活動

毎月第3木曜日は地域ボランティア活動として、フードパル熊本内の清掃活動を今年度も行いました。

アメリカン・エクスプレスさまよりコートを寄贈いただきましたので、冬の作業の際には、大変助かりました。農作業の際の防寒具としても使っています。地域では井芹川の清掃活動や花植え活動を行ってられるので、連携を図りながら地域とのよりよい関係をつくる活動を次年度実施していきたいと思っております。



研修事業

期日：平成22年5月1日（土）参加者：35名

内容：熊本県障害者差別禁止条例」についてお話をいただきました

講師：ヒューマンネットワーク熊本 山下紘史氏 吉田太郎氏

障害者権利条約が2006年12月に国連総会で採択され、08年5月に発効。障害者のあらゆる人権、基本的自由を完全に実現、促進すべきことを定め、身体的自由、拷問の禁止など自由権的権利や教育、労働など社会的権利について締結国がとるべき措置を定められました。日本は07年9月に署名したが批准はまだで、批准に向けて国内法制の整備などを進めることが必要とされている中、平成21年7月18日に障害者関連団体（23団体）が世話人となり、障害者差別禁止条例をつくる会が発足し、活動されています。わかりやすい事例を元にこれは差別になるのか、ならないのか？という事をお話しいただきました。



期日：平成22年7月3日（土）参加者：15名

内容：「障害者自立支援法制定後におけるグループホーム・ケアホームとバックアップ施設との連携」

講師：社会福祉法人慶信会 第2城南学園 甲斐正法園長

理念の変化→制度の変化→生活の変化→ニーズの変化が生まれており、パラダイムの転換が必要である。そして地域に職員の意識を向けていく事が大事である。

グループホーム・ケアホームでの安心・安全な居室を保障するための工夫が必要であり、園長の体験を通じて利用者から学んだこととして、保護という名の拘束があった。私達の課題として、地域の情報に常に触れることと確保すること、ネットワークでの事業展開が必要であることを学びました。



期日：平成22年10月18日 参加者：20名

内容：避難訓練と消防訓練

講師：熊本市中央消防署

13:30 倉庫より漏電による出火を想定して避難訓練を実施。

熊本市消防局の方から、避難の仕方の諸注意などをしていただきました。

その後消化訓練を行いました。消防士の方の消火器の扱い方について説明を行った後、実際に消火器を使って練習を行いました。

期日：平成23年2月26日（土）

会場：就労支援センターくまもと 会議室 参加者：10名

内容：口腔機能に関する介護職員研修

講師：津田和臣氏

「食べる」機能の低下は体を衰弱させます。「しゃべる」機能の低下はコミュニケーションを損なわせます。お口はからだの機能でとても大切であり、日ごろ



の口腔機能改善と、ケアは大切な部分でもあります。

その他

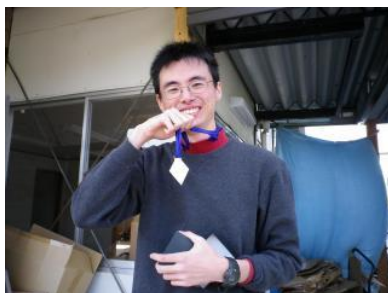
中川様より寄付を頂き、人数が増えて不足していた靴箱を購入することができました。

今年度は、135,161 円寄付金を頂きました。

訪問介護事業所の事務所改修工事、相談室及びトイレ整備工事などで、5,050, 500 円かかりました。これは、熊本県基盤整備事業補助金で4,851,000 円と寄付金などで不足分を充当させました。ありがとうございました。

山中悟嗣さん銀メダルおめでとう！

11月5日から11月7日で大阪で行なわれたスペシャルオリンピック全国大会に就労支援センターくまもとで働いている山中悟嗣さんがゴルフ競技に出場されました。



この日に向けて、沢山練習していた悟嗣さん。その練習の成果が実り銀メダルを獲得しました🎉🎉
おめでとうございます！

グループホーム

4月1日よりグループホーム（共同生活援助）の認可を受け、地域での生活支援事業に取り組みました。現在5名の方がグループホームで生活をされています。

次年度は10名を目標に活動を広げて行きたいと思います。

12月にはクリスマス会を開催。3月26日にはグループホームで、お花見会を開催しました。



見学会

日時：4月24日（土） 11：30～13：00 参加者 10名
日時：6月16日（水） 11：30～13：00 参加者 5名
日時：6月19日（土） 11：30～13：00 参加者 6名
日時：9月21日（火）～22日（水） 11：30～13：00
参加者 8名



訪問介護事業

訪問介護事業は現在高齢者18名、障がい者13名の訪問介護を行っております。職員確保が大きな課題でしたが、平成22年度「働きながら資格をとる」事業の採択を頂き1名雇用することができました。

また、基盤整備事業により事務所が整備されました。

熊本市協働事業

熊本市が今年度公募したチャレンジ協働事業「あんしん住替え相談窓口の創設」に応募し採択を受け実施しました。

近年、高齢の夫婦や単身者が郊外の広くて段差の多い戸建て住宅に住み、子育て世帯は比較的に狭い賃貸住宅に住んでいるという住まいのミスマッチが起こっており、ライフステージの変化に合わせた安心して暮らせる住まいが求められています。特別養護老人ホーム、ケアホーム、高齢者専用賃貸住宅など、様々なタイプの高齢者向け住宅が提供されていありますが、利用しやすい反面、トラブルも絶えません。市民のニーズが多様化する中、多種多様な施設特性を理解し、多数の物件情報を把握した安心して相談できる明確な窓口が必要となっており、今回私達は、その仕組みづくりとして、saflanet（セーフラネット）事業を提案しました。

- ・相談員マニュアル作成
- ・アセスメントシート及びマッチングシート作成
- ・相談員養成講座開催
- ・相談会開催 3回



熊本市居住支援協議会設立準備会

今年度熊本市と自立応援団が取り組んできた居住支援を更に進めるために、熊本市と自立応援団で熊本市居住支援協議会設立準備会を立ち上げ、企業団体と子育て、障がい、高齢者、国際など福祉団体に参加していただき、設立に向けた活動を行いました。その結果、障がい者・高齢者など住居を探すことが困難な方への支援として、データを集めホームページで検索する仕組みをつくと共に、次年度の支援として相談会開催や相談員養成、先進地での活動を元に様々な支援策を検討して環境を今年度整備しました。

熊本市 居住支援協議会設立準備会

セーフラネット

「Saflanet」が動き出します

住み替えてお悩みの方のために、
いっしょにお手伝いをしませんか？

今年度は普及活動として会報を2回発行し、シンポジウムを開催。シンポジウムでは、今年度自立応援団が行った活動を報告させて頂き、現場で活動している高齢者支援の関係の方や障がい者支援、子育て支援を行っている関係の方のご意見を頂きながら、不動産業界等の企業としての取り組みや今後の方向性をお話して頂く事で、現在の課題とこれからの活動について明確にすることができました。フロアーからもいろいろと期待と今後のあり方についてご意見も頂くことができたことは大きかったと感じています。

地域ふれあいフェスタ

期日：平成23年2月13日 10:00～16:00

会場：熊本市食品交流会館

内容：「ふるさとをください」映画上映会

「しょうがい者が地域で暮らすためには・・・」講演会

講師：ヒューマンネットワーク熊本 山下紘史氏

のみの市 「障害者施設展示販売会」

野菜・木工製品・豆腐・パウンドケーキなど

ゲームコーナー

地域の皆様のおもてなし料理

だご汁・焼き鳥・石焼芋

よさこいソーランや音楽イベントを開催しました。



2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)	
障害者自立 支援法に基 づく指定障 害福祉サー ビス事業	就労継続支援 A 型事業所	通年	就労支援セン ターくまもと	4人	熊本市及び近郊 市町村 22名	30,968	
	お花見会	4月7日	フードパ ル熊本	4人			
	みかん狩	10月26日	水元オレ ンジガー デン	4人	熊本市及び近郊 市町村 20名		
	研修事業		5月1日	就労支援セン ターくまもと	4人		熊本市及び近郊 市町村 35名
			7月3日	就労支援セン ターくまもと	4人		熊本市 15名
			10月18日	就労支援セン ターくまもと	4人		熊本市及び近郊 市町村 15名
	地域ふれあいフェスタ	2月13日	熊本市食品交 流会館	20人	熊本市貢町 3 81名		
	共同生活援助事業	通年	親和荘	5人	熊本市及び近郊 市町村 5名		
熊本市協働事業	7月1日～ 3月15日	熊本市	3人	熊本市役所	500		
居宅介護支 援事業	本年度は人員不足のため実施できなかった						
訪問介護事 業	訪問介護事業	通年	利用者宅	7人	熊本市内 18名	11,328	
	居宅介護・重度訪問介護 事業	通年	利用者宅		熊本市内 12名		
	研修事業	2月26日	あいえずヘル パーステーシ ョン	2人	職員 10名		